

URAYASU STYLE

Vol. **40**
2020.04

2020年度
浦安の教育



明海中学校でのランチミーティング

市長、教育長と明海中学校の3年生が一緒に給食を食べながら、浦安市について語り合いました。生徒から「理想の浦安市とはどのような姿ですか」という質問に、市長が「市民の誰もが自分のやりたいことを実現できるまち」、教育長が「一人一人の夢が実現できる素地づくりが義務教育」と答える場面がありました。

今年度は、市内の全ての中学校で実施する予定です。



3月は、新型コロナウイルス対策による休校の措置に、ご理解、ご協力いただきありがとうございます。また、多くの方に子どもたちの門出を祝っていただきたいところでしたが、ウイルス対策を講じながらの卒業（園）式となりました。子どもたちには、園、小学校、中学校を卒業（園）するという節目を味わってほしいという中での苦渋の判断となりました。まだまだ、予断を許さない状況ですが、新年度のスタートにあたり、一言述べさせていただきたいと思います。

いよいよ2020年が明け、令和2年度がスタートしました。この2020年、令和2年度という年（年度）はいろいろな意味で記憶に残る、心に刻み込まれる年となることでしょうか。時代は、まさに先行き不透明で予測困難な時代に突入しました。そのような時代に生きる子どもたちや市民の皆さんが、「輝き躍動するまち・浦安」を目指して新総合計画が策定され、スタートします。

教育の分野では、そのまちづくりを担う「ひと」づくりに焦点をあて、市長と教育委員会で構成される総合教育会議で「学び 育み 認め合い『未来を創造する』人づくり」を基本理念に掲げました。そして、その基本理念に基づき今後10年間を見据えた浦安市教育振興基本計画を策定し、学校教育、生涯学習、生涯スポーツのそれぞれの分野において、基本目標、推進計画を策定しました。

この第40号では、教育振興基本計画や分野ごとの基本目標、推進のための考え方を示しています。また、生涯学習の拠点である公民館が目指す独自性（特色）や、スポーツ協会の会長、理事長のスポーツに対するの熱い思いも語られています。

浦安市教育振興基本計画の実施にあたっては、子どもたちをはじめ市民一人一人の英知を結集しながら、未来を創造し、推進していきたいと思ひます。

浦安市教育委員会 教育長 鈴木忠吉